

つくば市郊外で捕獲された貯穀害虫の実態調査 —トラップに捕獲された貯穀害虫の記録(2014年～2015年度)—

技術の特徴

主に屋外から飛来し、屋内において穀物を食害する害虫が屋外においてどのように活動を維持しているのか、不明な点が多い。これらが明らかになれば、屋外での発生自体を抑えるための対策を考える上での知見が得られ、穀物管理に有用である。しかしながら、大量の穀物が常在していない一般の建物周辺については、屋外における周年変化を調べたデータは少ない。

本研究では、つくば市の屋外に調査場所を固定してノシメダラメイガ等における貯穀害虫の周年変化を性フェロモントラップにより経年的に調べ、周囲の環境などの要因から発生状況とその消長を明らかにするための基礎データを得ることを目的とした。

きちんと保管してるのに…
いったいどこから湧いて来るの？



ノシメダラメイガ タバコシバンムシ



身近な虫だけど、まだよく分かっていないことも多いんです。

研究の内容



研究の結果

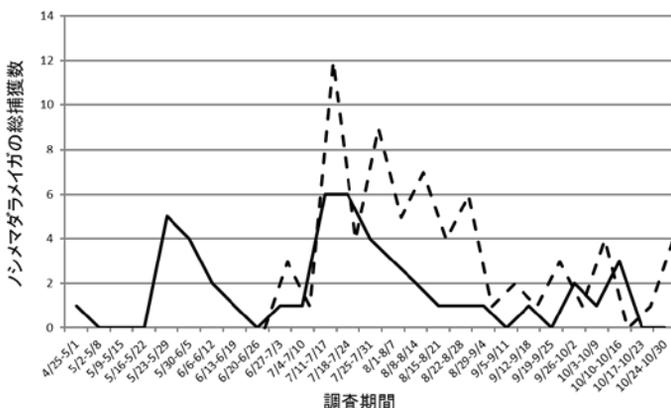


図3. 2015年および2014年度における屋外のノシメダラメイガの捕獲消長比較

計4箇所に設置したトラップの総捕獲数を1週間毎にプロットして比較した。2015年: 線、2014年: 破線。2015年度の調査期間: 2014/11/1～2015/10/31、捕獲なし: 2014/11/1～2015/4/24。2014年度の調査期間: 2014/6/25～2014/10/31。

ノシメダラメイガ用

タバコシバンムシ用

図1. 本研究に用いた性フェロモントラップ

性フェロモントラップは、富士フレイバー株式会社のフジトラップ ガチョン® (ノシメダラメイガ用)、フジトラップ ミューセリコ® (タバコシバンムシ用) を用いた。

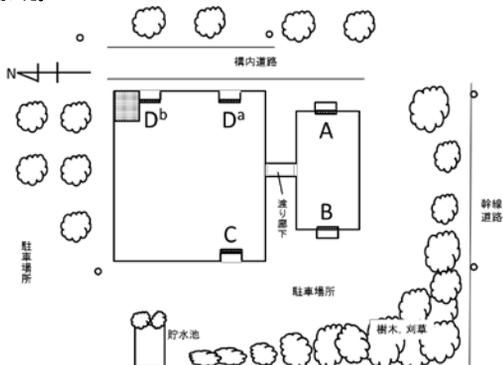


図2. 変換利用実験棟の建屋概略図と調査地点
設置場所A, Bのある建物は2階建て、設置場所C, Da, Dbのある建物は平屋建てである。

➡ つくば市郊外のノシメダラメイガには、5月、7月、10月に2～3回の発生が見られることを明らかにした。

今後の展開

本調査を続けることにより、貯穀害虫の周年変化に関するデータを蓄積し、周囲の環境などの要因から生活史を明らかにする。

参 考

古井聡, 今村太郎, 宮ノ下明大, 茨城県つくば市の屋外でトラップに捕獲された貯穀害虫の記録, 食総研報, 79, 19-24, (2015)

古井聡, 今村太郎, 宮ノ下明大, 茨城県つくば市の屋外でトラップに捕獲された貯穀害虫の記録(2014年11月～2015年10月), 食総研報, 80, 49-55, (2016)